

お買い物を通じたくらしの安心づくりをすすめます

「週一宅配」を軸に、店舗やその他のサービスを組み合わせることでお買物を支援し、安心して暮らすことができる「まち くらし」



何の数字

9887食

夕食サポート「まいくる」の1日平均食数 (P06)



32台37店舗

「買い物行こカー」の運行状況 (P06)

9市

育児用品などの提供自治体数 (P07)

「宅配事業」から「買い物支援事業」への変革をすすめています

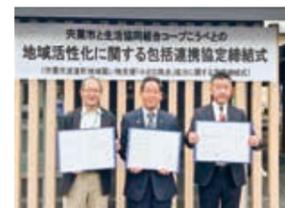
週一宅配を軸に、さまざまなサービスを組み合わせた買い物支援をすすめています。第1段階として、買い物送迎車「買い物行こカー」は、全32台の車両管理を、店舗から協同購入センターへ移管。夕食の弁当を届ける夕食サポート「まいくる」は、お届けエリアを拡大するため、各協同購入センターに「まいくるセンター（配送拠点）」の開設をすすめ、全協同購入センターへ広がりました。組合員が利用しやすいサービスの提供やくらしの見守りにもつなげていきます。



「買い物行こカー」の車内で夕食サポート「まいくる」を紹介

行政や地域と協働で買い物支援に取り組みました

4月に宍粟市および一般社団法人「波賀にこここマーケット」と「地域買い物支援『小さな拠点』協力に関する覚書」を締結。買い物困難地域のくらしを応援する新たな仕組みづくりとして、住民有志が運営するスーパー「波賀にこここマーケット」の商品調達に協力するとともに、「地域めーむひろば」を開始しました。



「波賀にこここマーケット」の店内

加古川市の見守りボランティアに参加

加古川市との包括連携協定に基づき、市内を配達する51人の宅配担当者が地域の見守りボランティアに協力しています。見守りが必要な小学生や高齢者が身に付けた電子タグに反応するよう、業務用端末に「みまもりアプリ」を搭載。検知した位置情報は、もしものときの探索に役立てられます。アプリを起動し、配達することで、地域の見守り役となっています。



宅配担当者が持つ業務用端末で「みまもりアプリ」を起動

行政と連携し子育てを応援

神戸市との「子育てしやすい環境づくりに向けた連携協定」に基づき、コープこうべが提供する育児用品を子育て世帯に配布する取り組みが4月からスタートしました。5月から高砂市、6月から西脇市、10月には芦屋市でも同様の取り組みを開始。地域と共に子育て世帯を応援する取り組みは9市に広がりました。



芦屋市との取り組みを開始



育児用品を受け取る様子

「めーむひろば」の利用者を増やしました

宅配、店舗の職員が連携し、店舗を利用する組合員に宅配サービスや宅配カタログ『めーむ』の魅力を伝える「めーむひろばフェア」を開催しました。3025人の申し込みを受け付け、約1万9000人の組合員が店舗で「めーむひろば」を利用しています。



コープの店内で「めーむひろば」を紹介

1 お買物を通じたくらしの安心づくりをすすめます

2 いきいきとしたくらし、地域をつながりづくりをすすめます

3 環境や社会のためになる活動・事業モデルを促進します

■ コープ伊丹がリニューアルオープン

8月、約3年半ぶりに建て替えオープンしたコープ伊丹は、コープ商品の割合を約40%に高めるとともに店内加工の総菜を品ぞろえしました。

また、つどい場「COCOROBA」を店内に開設し、地域コープ委員会やコープサークルが中心となり、「福祉」をテーマとした活動を開始。地域に根差した店舗づくりをすすめています。



店内に開設したつどい場「COCOROBA」



建て替えオープンしたコープ伊丹

■ 組合員ニーズや地域性に配慮した品ぞろえ・売り場づくりに

より買いやすく、食卓をイメージしやすい売り場のモデル店舗として、コープ神吉、コープ西宮東を改装オープンしました。用途別に陳列を見直し、関連商品を近くに配置するなど、豊かな食卓、メニュー提案型の売り場づくりをすすめています。



関連商品を近くに配置

■ オリジナル商品のブランドをリニューアルしました

コープこうべのオリジナル商品であることが分かりやすくなるよう、ブランド名とロゴマークを変更しました。

リニューアルから1年が経過し、商品パッケージを順次変更。宅配カタログ『めーむ』や店舗の売り場など、さまざまな広報媒体で「コープこうべ商品」の認知度向上に取り組んでいます。



宅配カタログ『めーむ』で紹介



店内で新しくなった商品ブランド「コープこうべ商品」をPR

■ 保障を通じたくらしの安心づくりをすすめています

子会社の(株)コープエイシスと連携し、コープ共済と団体保険を組み合わせ、組合員一人ひとりのニーズに合わせた保障の提案に取り組んでいます。

また、健康測定器を使ったイベントを店舗の共済相談コーナーで開催し、組合員の健康づくりをサポートしています。



店内で共済や保険の紹介を受ける組合員



■ 地域の福祉車両を活用した買い物送迎サービスが開始

コープデイズ豊岡では8月、豊岡市社会福祉協議会と協働で買い物送迎が始まりました。地域の福祉団体の車両の空き時間を活用し、買い物に困難を抱えている高齢者などを対象にサービスを提供しています。

日常の買い物機会の提供と地域における見守りにつながっています。



福祉車両で来店する組合員

■ 行政・地域団体と協働で移動店舗を開始しました

6月、三木市と結んだ包括連携協定をもとに、買い物困難者支援の取り組みとして、移動店舗を市内10カ所で本格的に開始。地域団体の皆さんがボランティアで、高齢者の買い物補助やサービスを広報するなど、支援に協力しています。移動店舗サービスを通じて、買い物支援や見守りに地域ぐるみで取り組んでいます。



地域の団体が制作・配布したチラシ



三木市内で移動店舗を利用する組合員

■ 宅配カタログ『めーむ』で「阪神・淡路大震災30年特別号」を発行

2025年1月、阪神・淡路大震災から30年を機に、「みんなで備える防災」をテーマとした特別号を企画・発行しました。

協同購入センター東神戸の新入職員6人が防災関連商品を利用・体験しながら紹介し、防災への意識を高めるきっかけになるような紙面づくりにチャレンジ。

また、ローリングストックにおすすめの商品を紹介するWebページも新設しました。→



宅配カタログ『めーむ』の特別号で防災グッズを紹介

■ 「備える」ことの大切さを伝えています

店舗ではローリングストック商品の売り場を充実させ、「備える」ことの大切さを伝えています。

また、災害時の食に関する問題を考えるハンドブック『食の備えBOSAIブック』を作成。→食料備蓄の知識やポリ袋調理のレシピなどを分かりやすく伝えています。



店内でローリングストック商品を紹介

1 お買い物を通じたくらしの安心づくりをすすめます

2 つながりづくりをすすめます。地域の

3 環境や社会のためになる活動を促進します